

書名 項目	<b>美術 1 発見と創造</b> <b>美術 2.3 探求と継承</b>	9 開隆堂
内 容	<p>           &lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;            ○作者のコメントや作品の解説などから、造形的な視点を理解できるように工夫し、記述している。         </p> <p>           &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;            ○作者の言葉やアイデアスケッチを取り上げ、生徒が思考力、判断力、表現力を育成できるようにしている。         </p> <p>           &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;            ○学習の意欲を向上させるように「学びの地図」「発見と創造」「探求と継承」となどの資料を掲載している。         </p> <p>           &lt;一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫&gt;            ○自分の見方や感じ方を大切にしながら、言語活動を充実させ、鑑賞の観点や手順を示すように、学習のポイントを設けている。         </p>	
資 料	<p>           ○各題材にQRコードを掲載し、鑑賞に役立つ資料、用具の使い方、制作手順やポイントを動画視聴でき、表現方法や鑑賞活動を支援できるように工夫している。         </p> <p>           ○掲載作品、資料の写真が鮮明であり、素晴らしい。         </p>	
表記・表現	<p>           ○題材名と合わせて「学習の目標」は三つの観点でマークを使い、安全や他教科との関連を11項目のマークで分類している。         </p>	
総 括	<p>           ○資料写真、作品写真がきれいである。高度な作品が多い。         </p>	

書名 項目	<h1>美術 1 ~ 3</h1>	38 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">光 村</div>
内 容	<p> <b>&lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;</b>            ○生徒に合った課題を設定しており、造形活動で困っている生徒の立場に立って、やり方の説明が丁寧である。            ○巻末の「学習を支える資料」が題材と関連し、技能を習得できるように工夫している。         </p> <p> <b>&lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;</b>            ○発想を広げる工夫・手立てとして生徒の写真やアイディアスケッチなどを掲載しており、作者の言葉、アイディアスケッチ、コラムなどにより、思考力、判断力、表現力等を育成しようとしている。         </p> <p> <b>&lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;</b>            ○「美術って何だろう？」や「うつくしい！」といった資料を掲載し、生徒の学習意欲をたかめようとしている。            ○現代的な課題や環境問題、日本の伝統美、グローバル化等に学習の中で触れている。         </p> <p> <b>&lt;一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫&gt;</b>            ○自分の捉え方や感じ方を大切に、様々な感じ方をしてよいことを肯定的に捉えさせている。            ○共通事項を意識できるような問いかけを示し、形や色彩などについて考えさせている。         </p>	
資 料	<p>○巻末に、素材や用具の種類、技法などを掲載し、活動の流れを説明している。</p> <p>○QRコードを掲載し、掲載作品の動画や音声ガイド、技法の動画を視聴でき、表現方法や鑑賞活動を支援できるようにしている。</p>	
表記・表現	<p>○安全に関する注意や資料、他教科とのつながりを3項目のマークで分類している。各題材の冒頭に鑑賞作品を掲載し、表現と鑑賞を関連付けて深い学びにつながるようにしている。</p>	
総 括	<p>○手順や説明が丁寧にされており、生徒の造形活動を支援する工夫がされている。</p>	

書名 項目	<b>美術 1 美術との出会い</b> <b>美術 2.3 上 学びの実感と広がり</b> <b>美術 2.3 下 学びの探求と未来</b>	1 1 6 目 文
内 容	<p>           &lt;知識及び技能が習得されるようにするための工夫&gt;            ○造形的に捉えられるように題材の解説文に工夫がある。見通しをもたせ、興味やワクワク感を伴って活動できるよう工夫されている。            ○題材で用いた技法を作者の言葉や参考写真で掲載し、技能を習得できるような構成にしている。         </p> <p>           &lt;思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫&gt;            ○図版を指した具体的な問いかけにより全体の印象や気づいてほしいことを示し、生徒の主体性を促している。            ○生徒に創作意欲を喚起させる掲載作品が多い。作者の言葉や構想のヒントとなるような活動の様子、アイデアスケッチなどを掲載し、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫をしている。         </p> <p>           &lt;学びに向かう力、人間性等を涵養するための工夫&gt;            ○「中学校美術の世界へようこそ」「この教科書で学ぶみなさんへ」と題した資料を掲載し、学習意欲が高まるように工夫している。            ○美術で学んだことが、生活や社会で活かされていることを実感できるように、様々な職業の人物の紹介や「社会に生きる美術の力」を掲載している。         </p> <p>           &lt;一人一人のよさや可能性を伸ばすようにするための工夫&gt;            ○自分の見方や感じ方を大切にできるように、生徒が造形活動中に交流する写真を、発想や構想、鑑賞の場面で示している。            ○美術を通して自分らしさを見つけ、思いを形にする大切さや楽しさを「3年間の成長地図」で紹介している。         </p>	
資 料	<p>           ○作品の迫力が伝わる大きさである。写真がきれいである。美しく見えるように並べ方を工夫している。            ○QRコードによる動画は、生徒が主体的に表現方法や鑑賞活動を行えるよう工夫している。         </p>	
表記・表現	<p>           ○題材名の上に活動や目的を表すサブタイトルを示している。三つの観点別の目標を示している。         </p>	
総 括	<p>           ○参考作品の掲載方法等を工夫し、生徒が見通しをもち、興味を持って造形活動を行える構成に工夫している。         </p>	